7がつの園だより

令和８年７月１日
目黒区立菅刈保育園園長

６月下旬の１週間は、子育て支援の“どろんこ遊び週間”でした。地域に住んでいる子育て家庭の子どもたちが、保護者の方と一緒に園児たちと砂遊びやどろんこ遊びを楽しむ企画です。週の前半は４．５歳児クラスの子どもたちと一緒に遊びました。９時頃から水を使ってすでにダイナミックなどろ遊びを展開しており、遊びに来た親子は少し圧倒されていました。それでも、たらいの水に砂を入れてシャベルですくったり、カップに入れたり、たらいに手を入れてどろの感触を確かめているようでした。３日目は２歳児クラスの子どもたちと遊べたことで、遊びを見てはまねっこして遊び始め、洋服までどろだらけになって楽しんでいました。保護者の方も「楽しかったです」「公園の砂場では経験ができないので、ありがたいです」と言ってくださいました。確かに公園では、水を使ってダイナミックに遊ぶことが難しいので、今後もどろんこ週間企画は続けていこうと思いました。

毎日、園で楽しく遊んでいる子どもたちの姿を見ていて、最近ふと思ったことがあります。「1日の中で、どのクラスでも一回は耳にする子どもたちの言葉はなんだろう」それは、今月の園だよりに載っている０歳児クラスと４歳児クラスの遊びの様子にもあった『もういっかい』という言葉です。０歳児クラスの子どもたちは指を１本たてて「もういっかい」を表現します。１歳児クラス以上になると「もっかい」「もっと」「もういっかい」という言葉が保育士との様々な遊びの中で聞かれます。きっとご家庭でも、いろいろな場面で聞く言葉ではないでしょうか。「もういっかい」といっても、これがまた一回だけでは終わらないので、大人側の気持ちとしては「えっ、また…」と、思わず声を出してしまいたくなります。園の生活の中でも、なるべく子どもたちの『もういっかい』に応えたいので活動の見通しを持ち、心の余裕やゆとりを持って関わりながら、一緒にわくわくを楽しんでいこうと思います。

≪今月の予定≫

- プール開き
- 七夕集会（３，４，５歳児クラス）
- 笹燃やし（３，４，５歳児クラス）
- 上旬　身体計測
- 中旬　避難訓練

各クラスで育てている野菜が大きくなってきました。

♪ク～イズ　クイズ♫

なんの野菜でしょう
（答えは裏面にあります）

1

2

3

4

5

０，２，４歳児クラスの園庭遊びの様子を紹介します。

つぼみ組（０歳児クラス）

「　触れるって楽しい　」

園庭に行くと地面にしゃがみ、手のひらで砂をなでるように触って不思議そうに見たり、湿った土を渡すと手を握ったり開いたりして感触の違いを感じています。保育士がお団子や型はめで形を作ると手で崩して「あー」(もう一回)と言ったり、砂で真っ黒になった自分の手を見て「あーあー」と言います。「まっくろだね」と声をかけると嬉しそうに笑い、繰り返し触ることを楽しんでいました。
砂、土、泥、水、雑草の葉や枯葉など身近な自然に触れて五感を刺激されている子どもたちです。

ひまわり組（2歳児クラス）

「　穴場スポット　」

「虫はどこにいるかな」と、毎日虫探しに夢中になっている子どもたち。一人が「あっちにいるよ」と自信満々に向かった先は、園庭のフェンス近くの落ち葉がたくさんたまっている場所でした。日々の虫探しを通して、どんな場所に虫がいるのか気づく姿も見られるようになってきました。積極的に触れる子、指先でそっとつついてみる子など姿は様々ですが、触っている友達の様子を見て「自分もやってみよう」という気持ちが高まり、虫との触れ合いを楽しんでいます。

うさぎ組（4歳児クラス）

「　何度も挑戦　」

園庭に出るとバケツに土と水を入れ、ドロドロの“泥団子の元”を作ることから遊びが始まります。「チョコレートみたい」「お団子だよ」と言いながら、泥団子作りを楽しんでいます。「白砂をたくさんかければツルツルになるんだよ」「落としても割れない固いお団子にしようよ」と話しながら、砂をどんどんかけていきます。手が汚れるのが苦手な子も「白砂屋さんになるよ」と白砂をかける役を担い、それぞれの関わり方で遊びに参加しています。途中で壊れてしまうと一瞬悲しそうな表情を見せますが、「もう１回作る」と気持ちを切り替え、再び作り始める姿も見られます。

クイズの答え

１：ピーマン（すみれ組）　２：かぼちゃ（うさぎ組）　３：オクラ（りす組）
４：ポップコーン（きりん組）　５：きゅうり（つぼみ組、ひまわり組）